

賛否など態度決定に至った理由・討論

令和4年6月定例会	
議案番号 議案名	議案第8号 松戸市病院事業会計補正予算(第1回)
議員名・会派名等	公明党
賛否態度	賛成
賛否など態度決定 に至った理由や 討論	<p>以下の賛成討論をもって、態度決定に至った理由と致します。</p> <p>賛成の立場から討論を行います。</p> <p>まず、この度の松戸市病院事業再編計画の中で、緩和ケア病棟の確保について、「新たな別棟の建設含めて検討する」となっていた点については、まず、既存棟内の改修で対応できないか検討したが患者さんがいる中での改修は困難であること、さらには現在、総合医療センターではハード的に課題があり、別棟を建設すれば手術件数の増や医師確保に結びつくことが確認できました。特に、手術件数については、現状の4,960件から、将来的には6,000件も目指せるとのことで、大いに経営改善につながるものと判断します。</p> <p>その一方で、一番心配なのが、東松戸病院閉院後の約1年間の緩和ケア病床の空白期間についてですが、総合医療センターに既にある「緩和ケア科」の医師が対応して一般病棟で受け入れることを検討していること、若しくは、東葛北部保健医療圏の127床と連携して対応することでもありました。</p> <p>是非、患者さんやご家族のご希望が十分に叶うような対応をお願いしたいと思います。</p> <p>そして、財源の問題についても、東松戸病院の跡地売却代金など、病院事業会計の中で手当していくことも確認できました。</p> <p>先の一般質問でも申し上げましたが、少子高齢化の進展、疾病構造の変化、医療の高度化・専門化など、保健医療の需要は、今後益々、増大・多様化し、より質の高いサービスが求められますが、その一方で、病院事業を運営する地方公共団体としては、一定の効率化も追求していかなばなりません。難しいかじ取りが求められることは明らかです。</p> <p>今般、本市にあっては、東松戸病院の閉院という大きな決断をした訳ですから、後で振り返ってみた時に、市民が本当に良かったと言ってもらえるような対応をお願いしたいと思います。</p> <p>私ども公明党も全力で支援してまいる決意です。</p> <p>どうか、市並びに病院事業におかれましては、更なる市民の福祉の増進を目指して邁進して頂くようお願いして賛成の討論とします。</p>